

楽しかったゴールデンウィーク！ 充分にリフレッシュ
できましたか……。
沖縄地方は梅雨に入り、しばらくは
ジメジメした日が続きそうですが、今月も元気に
過ごしていきましょう！

今度も挑戦
してみよう！

2026 読書感想文・感想画 コンクール

感想文 課題図書 紹介

リュウグウの砂に挑む

[著*伊藤元雄]

・小惑星探査機「はやぶさ2」がもち帰った貴重な砂を最強の分析チームが地道な努力で解析し、地球の生命の起源(水や有機物)が宇宙からもたされた可能性を証明します。天才的な研究者一人の偉業ではなく、チームワークと地道な努力がおおきな発見を生み出す感動のノンフィクションです。



そして砂漠は消える

[著*マリー・パブレンコ]

・環境破壊により生命が消え去り、広大な砂漠と化した近未来の地球を描いた物語です。生き残った貴重な木を狩って生活する遊牧民、12歳のサマアが男の仕事とされる「ハンター」の掟をやぶり希望と再生を求めて旅する物語です。

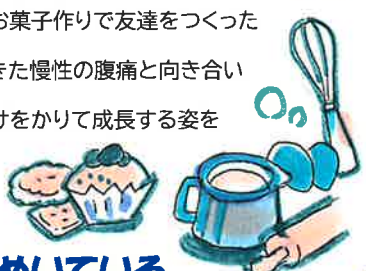


感想画 指定図書 紹介

チーム・テストならだいじょうぶ

[著*KirbyLarson & Quinn Wyatt]

・中2で転校し、特技のお菓子作りで友達をつかった少女テストが隠し続けてきた慢性的腹痛と向き合い友情と医療チームの助けをかりて成長する姿を描いた物語です。



アリゲーターガーは月を見る

[著*山本悦子]

・その孤独にひき寄せられるように夜の堀にやってきた3人の若者が出合います。母の信仰が原因でクラスになじめず不登校になった航、弟の交通事故死に責任を感じ、自分を責め続けている朔哉、高校卒業前に祖母が急死し天涯孤独になった葉月。孤独に向き合いながら歩み始めていく3人を描く青春小説です。



君の火がゆらめいている

[著*落合由香]

・主人公の葉澄(はすみ)は障害のある双子の姉の世話を日常的に手伝うなか「友達と遊びたい」「親の愛情を独り占めしたい」「姉のケアをしなければ」という責任感で胸の奥に複雑なモヤモヤを抱えます。そんな時、「きょうだい会」で恵たと出会い、きょうだい会との交流を通じ、自分の心に向き合うようになります。

涙の箱 [著*ハン・ガン]

・ある村に何にでも涙する「涙つぽ」と呼ばれる子どもがいました。涙を集める仕事をしているという男がある日、純粋な涙を求め、その子の元へやってきました。しかし、その子どもは日が暮れても「純粋な涙」を流しません。男は子どもを慰め、涙の買い手が住んでいる村へその子どもと行くこととなります。なぜ、その人は涙を買いたいのか、純粋な涙とは？

